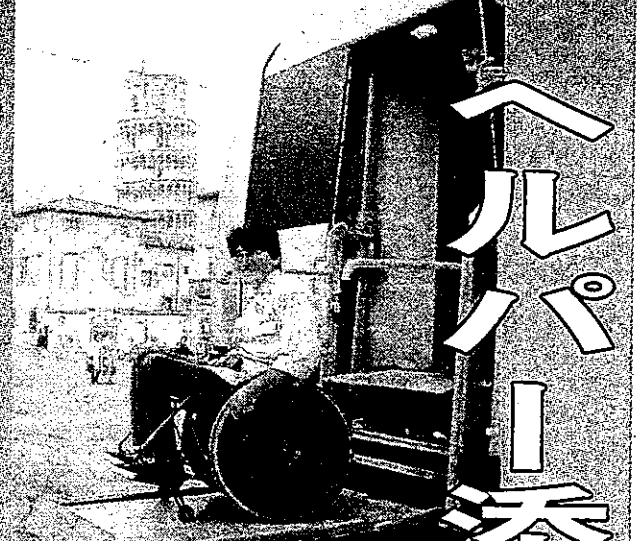


広がる バリアフリー旅行



ユニバーサルツーリズムの普及を促す見聞記旅行
ユニバーサルツーリズムの普及を促す見聞記旅行
2級養成講座へ参加するユニバーサルツーリズム推進員



ヘルパー添乗員育てます

障害者も高齢者も気楽に参加できるバリアフリーの旅が年々盛んになっている。来春には、福祉の知識や介護技術を習得した旅行ガイドのエキスパートを育てる専門学校が学科もできる。高齢者向けに介護士を養成する旅行会社も登場。高齢社会を迎えてニーズが高まるのに伴い、バリアフリーの旅は拡充が進んでいる。

「がんを宣告された人が、最後の旅立ちだと万里の長城に行ったら、次はオーストラリアだ」と元気になった。旅はその人の世界を広げ、健康にし、自信を与える。こんなに社会を明るくするものはない。ハンディを抱える人がもっと旅を楽しめるシステムをつくらせよ。

上級救命講習 手話実技

・福祉関係者を前に演壇として招いた。勝天さんは江戸川区役所、全日制で二年コースで所属の電話相談員(非常勤)をつとめる。高卒十八歳以上が対象。から、これまでに車いすで海外に二十回、国内も北海道から沖縄まで出かけて実技も学ぶ。旅行業務けるなど豊富な旅行経験を持つ。



ユニバーサルツーリズム学科 開設記念講演会

TEL 03(5461)8030 / FAX 03(5461)8033
EX-ル t-hatsu@tokyo-np.co.jp

ホームヘルパー2級取得

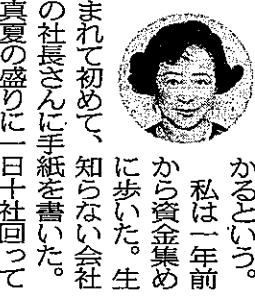


駿台トラベル&ホテル専門学校で試験的に行われたバリアフリーのモデル授業—東京都豊島区で(同校提供)

草薙威一郎所長は「日分だが、団塊の世代が六本は欧米に比べ、公共施設十五歳になる二〇一〇年開かれた一九六四年だ。フリーが二、三十年遅れなければなりません」。ツ大会の応援で障害者旅行に出かけられると。日本では海外旅行が自由。九〇年代に車いすで旅行ができる時代だが、わ紙面構成・三馬彩

わが街わが友

10 (全十二話)



かるとい。私は一年前から資金集めに歩いた。生まれ初めて、知らない会社の社長さんに手紙を書いた。真夏の盛り一日十社回って説明し、援助をお願いした。協力してくれた方一人である。小島章伸さんは、会社設立二十周年で記念に何か文化的なことに寄付したいと考えた。おかげでかなりの資金が集

代々木②

成功の陰に温かい好意

これから、南仲坊さん、永六輔さんらが執筆します。